

技術検討の結果について

秩父農林振興センターでは、「森林土木工事の技術検討に関する協定書\*」に基づき、次のとおり森林土木工事の技術検討を実施しました。

1 技術検討の場所

大渡沢地区／秩父郡小鹿野町藤倉地内

2 計画する工種・工法・数量等

既設治山ダム補修工（下流側増厚工） 2基

3 技術検討の内容

- (1) 仮設道の敷設方法
- (2) 建設機械の選定
- (3) 生コンクリートの打設方法

4 実施日

令和5年11月20日（月）

5 参加した埼玉県森林土木建設業協会会員

- (1) 有限会社長若建設
- (2) 有限会社新井土建

6 検討結果

検討事項	検討結果
仮設道の敷設方法	進入路で現況の幅員が狭い部分については、大型土のうや鉄板の敷設、山側の切土等により、拡幅する必要がある。 また、幅員が2.0m程度となるため、建設機械の選定にあたっては留意する必要がある。
建設機械の選定	仮設道の幅員が2.0m程度のため、使用できるバックホウの規格は標準バケット0.1m <sup>3</sup> （山積）となる。
生コンクリートの打設方法	県道にコンクリートポンプ車を停車し、圧送管を使用することで打設が可能である。

\* 「森林土木工事の技術検討に関する協定書」は、狭隘で急峻な山間地域において行う森林土木工事（治山工事・森林管理道工事）を埼玉県が設計するにあたり、現場施工に係る専門的知識と経験を有する埼玉県森林土木建設業協会と技術検討を行うことで、現場状況に応じた適切な設計積算の実施のほか、工事の安全及び円滑な施工の確保と併せて、森林土木工事に係る者の技術力の向上に資することを目的として、令和4年11月24日に締結したものです。